

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」
第11回 SIPインフラ社会実装促進会議 (最終報告会)

5年間に渡るSIPインフラの活動から見えてきた インフラ維持管理・更新・マネジメントの未来 — 子供たちの未来を支える社会インフラのために —



PD(プログラムディレクター)
藤野 陽三

SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」(プログラムディレクター (PD): 藤野陽三 横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授)においては、「使いたくなる技術」を開発し、様々な実証実験を行った上で、広く社会実装していくことを目指してきました。その結果、プロジェクト開始時にまいた種から、数多くの技術が生まれ、社会実装のレベルまで達し、インフラ維持管理の未来へつながるいくつかの芽となっています。

しかしながら、これらは芽吹いたばかりで、力強い花を咲かせ、実を結ばせるためには、多くの力を結集し、育てていく必要があります。そのために重要な鍵は三つであると考えています。一つ目は“インフラ維持管理分野への新技術導入環境の整備と継続”です。二つ目は“地域特性に応じたマネジメント体制と地域連携”です。三つ目は“インフラデータの多様な利活用とインフラの社会的価値の実質的向上”です。これらに対するSIPインフラが作り上げた基礎とその先にある近未来の姿についてご紹介するとともに、関連する皆様方から建設的なご意見をいただける場を設けたいと考え、社会実装促進会議の最終回を開催いたします。SIPインフラが創り出した技術、仕組みや精神などが未来を支える社会インフラの維持に貢献するだけでなく、いまの子供たちの未来を輝かせる礎につなげていきたいと考えております。

本会議はSIPインフラとしては最終の会合となりますが、未来への投資をさらに加速化させる起点の会合としたいと考えております。今こそ、日本の未来に不可欠な多様な投資とイノベーション創出の時であるとの思いにご賛同いただける方々にご参加いただきたく思います。よろしくお願いいたします。

日程 ▶ 2019年1月24日 木
10:30~18:00 (開場9:45)

会場 ▶ 東京大学 安田講堂
東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_01_j.html



定員 ▶ 1,000名 (定員になり次第締切)

詳細・申込等(要事前登録) ▶ [SIPインフラ 検索](http://www.jst.go.jp/sip/event/k07/k07_event20190124.html)

http://www.jst.go.jp/sip/event/k07/k07_event20190124.html

※定員に達し次第締切ります



- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)より徒歩 8分
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)より徒歩 6分
- 湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)より徒歩 8分
- 東大前駅(地下鉄南北線)より徒歩 1分
- 春日駅(地下鉄三田線)より徒歩 10分



主催 ▶ SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術
土木学会 SIPインフラ連携委員会

共催 ▶ インフラメンテナンス国民会議



本会議は土木学会認定 CPD (継続教育) プログラムです。(認定番号: JSCE18-1469, 単位6.2)



インフラ維持管理・更新・マネジメント技術

5年間に渡るSIPインフラの活動から見えてきた インフラ維持管理・更新・マネジメントの未来 — 子供たちの未来を支える社会インフラのために —

スケジュール(予定) ※敬称略

10:30~10:35	開会挨拶	藤野 陽三 (SIP インフラ PD)
10:35~12:25	第一部	<p>「イノベーションの継続」 (新技术をインフラビジネスに導入しやすくするために)</p> <p>1) インフラ維持管理の将来像 ~点検・モニタリング・診断技術のイノベーション~ 若原 敏裕 (SIP インフラ サブPD)</p> <p>2) 新技术導入の課題と今後に向けた提言 田崎 忠行 (土木学会 SIP インフラ連携委員会 委員長)</p> <p>3) シーズとニーズの両面から開発する 大林 厚臣 (慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授)</p> <p>4) 国土交通省による新技术促進支援(予定) 岡積 敏雄 (国土交通省 官房技術参事官)</p> <p>5) 土木学会における社会インフラメンテナンスへの取組み 塚田 幸広 (土木学会 専務理事)</p> <p>6) 総括 黒田 亮 (内閣府 大臣官房審議官)</p>
12:25~13:30	昼 食	
13:30~15:20	第二部	<p>「地域との共生」</p> <p>1) SIP インフラにおける地域実装チームへの期待の変遷 岡田 有策 (SIP インフラ サブPD)</p> <p>2) 地域実装チームの活動実績 六郷 恵哲 (岐阜大学 工学部 教授)</p> <p>3) インフラメンテナンス国民会議と地域実装チーム(予定) 吉田 邦伸 (国土交通省 事業総括調整官)</p> <p>4) 開発途上国における道路アセットマネジメントの展開と技術支援 山村 直史 (JICA 社会基盤平和構築部 審議役)</p> <p>5) パネルディスカッション; 「2019年以降のSIPインフラ地域実装チームの活動」</p> <p>■ 司会 若原 敏裕 (SIP インフラ サブPD)</p> <p>■ パネリスト; 石川 敏之 (関西大学 環境都市工学部 准教授)</p> <p>木下 幸治 (岐阜大学 工学部 准教授)</p> <p>全 邦釘 (愛媛大学 工学部 准教授)</p> <p>長井 宏平 (東京大学 生産技術研究所 准教授)</p> <p>宮里 心一 (金沢工業大学 工学部 教授)</p>
15:20~15:35	休 憩	
15:35~15:45	挨拶	上山 隆大 (内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)
15:45~17:35	第三部	<p>「Society 5.0 / SDGs (持続可能な開発目標) への展開」</p> <p>1) 余寿命予測の未来 前川 宏一 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府 教授)</p> <p>2) インフラデータベースの未来 久田 真 (東北大学大学院 工学研究科 教授)</p> <p>3) 社会インフラを支えるIoTとデータ共有基盤 安達 淳 (国立情報学研究所 副所長 教授)</p> <p>4) パネルディスカッション; 「SIPインフラの未来: 超スマート社会に向かって」</p> <p>■ 司会 岡田 有策 (SIP インフラ サブPD)</p> <p>■ パネリスト; 安達 淳 (国立情報学研究所 副所長 教授)</p> <p>石田 哲也 (東京大学 工学系研究科 教授)</p> <p>手塚 寛之 (国土交通省 大臣官房技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官)</p> <p>新田 恭士 (土木研究所 技術推進本部 上席研究員)</p> <p>久田 真 (東北大学大学院 工学研究科 教授)</p> <p>宮武 晃司 (内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 参事官)</p>
17:35~17:55	第四部	「世代を超え、そして未来へ -インフラメンテナンスへの期待-」 藤野 陽三 (SIP インフラ PD)
17:55~18:00	閉会挨拶	田崎 忠行 (土木学会 SIP インフラ連携委員会 委員長)

お問合せ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) / イノベーション拠点推進部 SIP第1グループ
E-mail : sip_infrastructure@jst.go.jp 電話 : 03-5214-8475



インフラ維持管理・更新・マネジメント技術